

ふ・い・く



福祉強化キャンペーンにむけて

労福協の“福祉はひとつ”で始まった労働者福祉運動は、働く仲間同士で助け合い、支え合う“しくみ”として労働金庫・労働者共済を創り、組織強化とともに利用促進・共助拡大に努めてきました。

この10年の間、政治・経済・社会の状況は大きく変わり、自己責任論が蔓延し、格差や貧困はさらに広がり、社会的孤立に陥る人が増えています。さらに今般の新型コロナウイルス感染拡大が追い打ちをかけ、その収束の兆しが見えないなか、多くの勤労者とその家族は不安を抱えながら生活を送っています。こうした状況を踏まえ、協同組合や労働者福祉事業の意義や役割について、お互いに再確認し運動を前進させる必要があります。

先輩たちがつくり育てあげ、働く方々の生活に大きく貢献してきた労働者福祉運動をさらに充実させ、次世代に引き継ぎ、人財の育成と運動の拡大を進めることが、今私たちにとって大切なことです。

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 結成50周年記念誌「絆」の発行 | P2 |
| パネル展示・合同相談会開催 | P3 |
| 福祉強化キャンペーンの取り組み | |
| ろうきん・こくみん共済coop | P4 |
| 鳥取県生協・鳥取医療生協 | P5 |
| 福祉事業団体通常総会・総代会開催① | P6 |
| 西部労福協第7期理念歴史リーダー養成講座参加 | P6 |
| 福祉事業団体通常総会・総代会開催② | P7 |
| 鳥取県最低賃金 | P7 |
| 第69回鳥取県勤労者美術展 | P8 |

鳥取県労働者福祉協議会 結成50周年記念誌「絆」の発行

この度、鳥取県労福協は結成50周年を迎え、記念誌「絆」を発行することになりました。記念誌の編集委員会は、回数を重ねること19回、原稿の校正は11校になりました。過去に記念誌を発行していなかったため、50年間の活動や記録を集めることには、大変苦労しました。中央労福協、連合鳥取、各福祉事業団体、鳥取県労福協三支部の協力により発行することができました。



第1回編集会議の様子



50年間の資料を編集しますと、労福協結成当時の労働運動のエネルギーを肌に感じ、その運動が50年間引き継がれて、現在の労福協が存在していることを強く認識しました。

編集作業を通じて、労福協の運動の原点である「勤労者とその家族の福利厚生の増進を図り健康で文化的な生活を営むことができる環境づくり」をめざすとともに、福祉事業団体の育成強化をはかり「連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向け、運動の持続と発展をしなければならないと改めて感じました。



県立くらよしハローワーク・ライフサポートセンターとっとり・鳥取県中小企業労働相談所みなくる

「パネル展示&合同相談会」 ～労働相談におけるワンストップ相談～

2022年9月1日（木） 倉吉市内の商業施設パープルタウン内パータン広場にて合同相談会とパネル展示のイベントを開催いたしました。

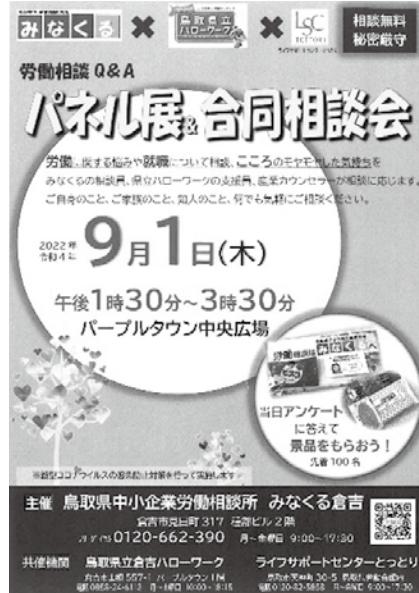
労働相談所みなくるは、相談窓口の周知や労働問題の啓発活動のために、毎年Q&Aパネルの展示や事業内容の動画によるスライドショーを実施しておりましたが、今年度は初めて、「県立くらよしハローワーク」「ライフサポートセンターとっとり」「鳥取県中小企業労働相談所みなくる」の3事業所合同での相談ブースを設置し、職業相談や展示によるパネルの解説、労働法についての質問に回答するなど、個々の相談に迅速に対応する為に、合同での相談会を実施させていただきました。日々、相談員は労働相談をお受けする中で労働や就労問題は相談者の様々な面に影響を及ぼすと感じています。具体的には職場における問題は生活面やこころへの影響があり、それらが家庭の問題や困窮問題などへ波及していくケースが多く見受けられます。労働相談所みなくるはハブの役目も担い、関係機関への紹介やアドバイスをおこなっておりますが、スムーズな繋ぎができたかどうか、相談者が先送りになり解決に至らないことなどについて案じる場面も多々あります。



この度は特に日々連携をしている関係機関とのワンストップ相談を目的とし、参加いただいた関係機関先からも今後の開催への期待と参加の希望もいただきました。このような協力が得られたことにつきましてはみなくるとしても大変嬉しく思います。

またアンケートに答えて頂いた県民の方へセミナーやチラシと共に景品をお渡しし、その中のご意見や周知度合いなども把握することができました。このアンケート結果につきましては今後の活動に役立てて参りたいと思います。

沢山のご協力ありがとうございました。



今こそ! 労福協の力を

労働 共助の輪

「ろうきん運動」は、SDGsそのものなのです

ろうきんは、SDGsの17ゴール実現に向けた取組みを展開するにあたり、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。

勤労者の生活向上という、ろうきんの使命を追求することを通じて、ろうきんに期待される協同組織金融機関としての役割発揮とSDGs達成に取組んでいきます。

■ろうきんSDGs行動指針

勤労者の生涯にわたる生活向上サポート

〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。

「ろうきん運動」やESG投資の実践を通じた「意思のあるお金」による社会的好循環の創出

〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。

SDGsの達成に向けた「共感の輪」の拡大

〈ろうきん〉は、SDGs達成に向けた様々な取組みやその成果を発信し、〈ろうきん〉を利用することがSDGs推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、SDGs達成に向けた共感の輪を広げていきます。

こくみん共済coopにおけるSDGs

こくみん共済coopでは、共済を通じて、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」に取り組んできました。

めざす運動の一つに「持続可能な社会づくり・セーフティーネットづくり」を掲げ、SDGsの「誰一人取り残さない」社会づくりに取り組むことを確認しています。

2019年8月の第130回通常総会では「こくみん共済coopにおけるSDGsの取り組みにむけて」を発信し、SDGsのさらなる理解の促進と実践を進めてきました。

2020年7月「こくみん共済coopにおけるSDGs行動宣言」を策定し、同年8月の第132回通常総会で特別アピールを行いました。

本宣言を踏まえ、活動の原動力となる内部浸透の取り組みをさらに進め、具体的な行動につなげていきます。

■こくみん共済coop SDGs行動宣言

①共済を通じた安心の提供

より良い共済・サービスの提供と、一人ひとりに応じた生活保障設計を通じて、組合員と家族の安心を提供いたします。

②環境保全の取り組み

気候変動を抑制し、豊かな環境を守るために、省資源・省エネルギーに取り組みます。また、環境保護への支援を強化します。

③子どもの健全育成の取り組み

子育て支援、交通事故抑制、健康増進の取り組みにより、貧困の連鎖に歯止めをかけ、子どもの健全な育成を進めます。

④防災・減災の取り組み

台風や地震など大規模災害の発生から、組合員を守るために、防災・減災の普及と社会インフラづくりを進めます。

⑤共創による社会づくり

人々が暮らし働く地域社会に根ざし、たすけあいの輪をむすび、誰もが活躍できる社会づくりを進めます。

⑥魅力ある組織づくり

環境変化に積極的に挑戦し、あたらしい協同の仕組みを創造する魅力ある組織づくりを進めます。

者福祉運動で、 を地域に広げよう！

【鳥取県生活協同組合】

鳥取県生活協同組合は、1950年12月に「東部勤労者消費生活協同組合」として設立し、今年度で72年目を迎えます。消費者一人ひとりが出資金を出し合い、組合員となり、運営・利用する組織です。現在では65,000世帯を超える組合員さんにご加入いただいています。

フードドライブ事業の取り組み

フードドライブとは、ご家庭で眠っている余剰食材を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する活動です。

この活動は、鳥取県生協が鳥取県と連携（事業委託）して、食品ロス削減と有効利用を目指して取り組んでいます。

昨年度は、2,271点（2,118kg）の寄付食品が集まりました。

昨年度の受け渡しのようす



【鳥取医療生活協同組合】

医療生協は、「健康で長生きしたい」「いざというとき安心してかかる病院、診療所がほしい」という地域住民の願いを実現するためにつくられ、組合員と職員が力を合わせて、健康づくり、まちづくり、医療制度の充実などに取り組んでいる協同組合です。

鳥取医療生活協同組合は、1951年に「勤労者とその家族の健康を守りたい」との思いから、鳥取勤労者医療生活協同組合として創立されました。

鳥取医療生協の組合員活動は、「人ととの協同の力で、健康で平和なまち、いのち輝くまち、鳥取をつくります」の理念のもと、年間を通して健康づくりや保健予防活動、ボランティア活動、社保・平和活動等に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、昨年度は活動を中止する期間がありました。2022年度は、活動を中止するのではなく、地域の皆さんの「孤立」「フレイル」予防のため、感染予防対策の学習と普及を進めながら、活動を行っています。

コロナ禍で、これまで以上に「つながる」ことの大切さを実感しています。人ととのつながり、人と地域とのつながり、様々なつながりを活かして「健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、他団体との協力を強化して今後も取り組んでいきます。

中国労働金庫 第19回通常総会

2022年6月24日(金)、中国労働金庫第19回通常総会が開催されました。コロナ禍により今年も前年、前々年に引き続き本店ビル大会議室からのWeb開催となりました。本店会場並びに各県会場に総勢173名の代議員が出席して議案審議を行い、決算余剰処分案や2022年度事業計画案などすべての議案が承認されました。



あいさつする戸守理事長



本店総会会場の様子

西部労福協 「第7期労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」

開催日 2022年8月26日（金）《Web開催》

受講者 園山 晋平 中国労金鳥取支店職員 遠藤 史章 連合鳥取西部地協事務局長
重村 和光 西部労福協幹事

(受講生からの報告)

今回の研修を通して、労働金庫の歴史を改めて知ることができるとともに、今後労働者福祉運動をよりよくするためには何をするべきなのかを再認識することができたのでとても良かった。その中でも特に講師の高橋均様が言われた「血の通った温かいお金」と言う言葉がとても印象に残り、ろうきんで預けたお金が、困っている組合員のために使われているのがとてもよくわかる言葉であると思った。また、労働金庫とこくみん共済coopは労働組合が作った組織であり、他の銀行とは目的が違うため、労働者の生活をより豊かにしていくためにお役立ちを行い、新型コロナウイルス・円安・物価の上昇などによって、生活が困窮したりしないよう唯一の福祉金融機関として何ができるのか改めて考えようと思った。



第70回鳥取県共済生活協同組合通常総代会 第5回こくみん共済coop鳥取推進本部組合員代表者会議

2022年7月29日（金）ホテルニューオータニ鳥取 3階「鶴の間」で通常総代会および組合員代表者会議を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止と安全確保の観点から、開催規模を縮小・変更し、運営を簡略化したうえで開催をしました。

総代総数 110名（本人出席 31名、書面議決 79名）



松崎本部長



会場の様子

2022年度推進活動計画の基調

- 「お役立ち発想」と「共創活動」にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造・実践し、事業目標の達成を目指します。
- 組合員一人一人の生活スタイルの多様化にあわせたコミュニケーションをすすめ、生活全般の安心をトータルに捉える新しい生活保障設計をすすめます。
- 「7才の交通安全プロジェクト」「こども成長応援プロジェクト」をさらに地域社会に広げ、台風や水害・雪害などの自然災害から組合員の生活を守るため「防災・減災運動」の普及活動を連合、労福協、労働金庫、生活協同組合、協力団体と連携してすすめていきます。
- 「団体生命共済」「こくみん共済」「火災・自然災害共済」「マイカー共済」を重点共済とし、万一のときの保障点検活動や組合員への提案・個別相談を実行します。また、解約抑止（継続漏れ）の活動に注力し、組合員とのコミュニケーションを大切にしながら、魅力ある共済商品の提案をすすめます。
- 健全性の確保および重要なリスクの安定性維持をはかり、成長分野への経営資源のシフトや事業経費の削減、効率化による収益向上の取り組みをすすめ、将来への安心を提供します。

今年度も組合員の皆さんとともに、諸活動に取り組んでまいります。

引き続きこくみん共済coop鳥取推進本部へのご協力を賜りますようお願い申しあげます。

鳥取県最低賃金

時間額：854円 発行日：令和4年10月6日

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室（電話0857-29-1705）
又は最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

同時開催中
来場者
人気投票を
実施します。
(投票期間 1/22~1/28正午)

入場料
無料

来場時にはマスク着用を
お願いいたします。

第69回 鳥取県 美 勤 術 労 展 者

写 真 / 洋 画 / 日 本 画 / 書 道

2023
1/22日▶29日

※23日(月)は
休館日です

午前9時~午後5時 (最終日は午後3時まで)

わたしの熱中作品展 同時開催中

■ 出品申込期間

2022.

11月1日火~12月20日火 必着

■ 作品持ち込み日

2023.

1月12日木、13日金 午前10時~午後6時

■ お問い合わせ

(一財)鳥取県労働者福祉協議会

鳥取市天神町30番地5鳥取県労働会館3階 電話:0857(27)4188

E-mail:tottori@roufuku.jp

<http://tottori.rofuku.net/>

※詳細は、ホームページのイベント情報に掲載の →

鳥取県労働者美術展開催要項をご確認ください。



鳥取県商工労働部雇用人材局

鳥取市東町一丁目220 電話:0857(26)7662

※新型コロナウイルスの感染状況によって、本美術展を中止する場合があります。

主催／一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会 共催／鳥取県

後援／一般社団法人鳥取県経営者協会、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、中国労働金庫鳥取県営業本部、
くくみん共済coop鳥取推進本部、連合鳥取、鳥取県生活協同組合、鳥取医療生活協同組合、鳥取県教育委員会、鳥取市、鳥取市教育委員会、新日本海新聞社



会場／とりぎん文化会館 展示室
鳥取市尚徳町101-5

発行責任者 本川博孝
発行日 二〇二三年十一月
編集責任者 重村和光
編集委員 猪原靖彦・深田真市・金川美友・谷口美紀
発行 鳥取市天神町30番地5 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第316号
TEL(0857)27-14188